

平成28年(2016年)11月1日発行

東京電機大学と連携協力協定締結

教育、研究、社会貢献などで交流促進



協定書を交わした成田学長(左)と安田学長

本協定は「連携協力による教育分野における、学生の単位互換制度を導き、相互に補完することとで教育、研究、社会貢献の二層の進展を図り、両大学の更なる発展と社会的地位の向上に繋げることを目的とする。長年の協力関係をさらに深め、各分野における一層強固な連携構築を目指す。

からの研究依頼に対し、双方の得意分野を活かして共同で研究を行うなどの対応が考えられる。特に今後期待される成果としては、教職員の資質改善・開発(F・D・S D)に関する積極的な交流、施設・設備の相互利用などを想定している。

秋季学位記授与式・入学式 留学生別科修了式 挙行

式典は9月20日、本学14号館会議室にて執り行われた。まず午前9時30分より秋季学位記授与式、留学生別科修了証書授与式が挙行され、学部86名、大学院工学研究科博士前期課程4名、博士後期課程1名、留学生別科14名(早期修了2名含む)が本学を卒業、修了した。

成田健一学長は告辞として「言われたことだけこなし『マニュアル人間』では生き残れない。『生涯学び続ける技術者』であらねばならないことを再認識し、自己研鑽というルーティンを身につけるべく、明日から新たな努力に励んでほしい」とエールを送った。



成田学長より学位記を受け取る修了生

式では成田学長による式辞、柳澤理事長による祝辞、後援会の記念品贈呈へと進み、最後は全員で校歌を斉唱した。式終了後には友人、教職員、家族との記念撮影など、別れを惜しむ場面も見られた。正午より同会場において秋季入学式が挙行された。今年度は学部11名、大学院工学研究科博士前期課程5名、博士後期課程3名、留学生別科13名が本学に入学した。

当日はあいにくの雨模様であったが、柳澤理事長、市川後援会長、土井友会長、日本工業大学駒場高校・中学の吉田校長をはじめ多くの教職員、ご父母が出席し、華やかな雰囲気であった。

学生運営「リサイクルショップ」 最優秀賞受賞

9月26日、学生環境推進委員会の活動のひとつである「リサイクルショップ活動」が、ごみの減量化に寄与している」と評価され、久喜宮代衛生組合より表彰状を授与された。



表彰状を授与される坪井君

この活動は2003年から13年間継続して毎年実施されており、不要となった家具や家電を卒業した学生から無料で回収し、清掃生組合主催「ごみを減らしてきれいな街づくり表」の最優秀賞を受賞した。

第48回 若杉祭 11/5・6

テーマ「笑顔」



昨年の様子

いよいよ本学の一大イベント「若杉祭」の季節がやってきました。今年のテーマは「笑顔」! シンプルですが、来場者はもちろん、私たちスタッフを含めた関係者全員が笑顔になることが若杉祭の成功に繋がっていくと考えました。本学の大学祭は学生だけではなく、地域の人やその子供たちとの関わりが強いのも魅力の一つです。大人から子供まで笑顔になっていく、そんな若杉祭となっていますので、ぜひご来場ください。

大学祭実行委員会委員長 石沢友樹

オープンキャンパスのお知らせ 11/26(土) 入試直前対策をチェックしよう!

駿台予備学校の講師が一般入試問題を解説 大学・学科紹介、研究室・施設見学、進路・入試の個別相談 など... お問い合わせ・お申込み先: 教務部入試室 ☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp

日本工業大学 工学部 平成29年度入試日程

Table with columns for exam type (e.g., Special Admission, General Admission), date, and location. Includes details for AO and Center-based admissions.

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集 (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程 \*環境共生システム学専攻 \*機械システム工学専攻 \*電子情報メディア工学専攻 \*建築デザイン学専攻

■平成29年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

Table showing exam dates: 二次募集 (平成29年2月8日~2月15日), 面接試験 (2月22日), 合格発表 (3月3日), 手続締切 (平成28年3月9日).

※1 インターネット出願は、12/20(火)より受付開始! ※2 本学会のみ、1/21(土)・23(日)も窓口受付。【皆さんのチャレンジを待っています。専門高校入試(B工業科)、一般推薦入試(公募制)】



### 杉戸宿400周年記念事業 本学学生と杉戸町民らによる 杉戸宿高札場 復元プロジェクト

#### 復元プロジェクト

本学は包括的連携協定を締結している埼玉県杉戸町ならびに同町観光協会の協賛により、杉戸宿開宿400周年記念事業として高札場を製作・復元するプロジェクトに参画、10月30日に復元作業を完了した。



上棟式に臨んだ学生と大工

高札場とは、幕府が定めた法令や公定運賃を木の板札に記して高く掲げておく場所。復元プロジェクトは町内の大工、建設関連企業と本学教員、学生が協同で実施した。本学からは、生活環境デザイン学

### 第49回教育改革シンポジウム(東京電機大と共催) 大学ブランドの構築と広報戦略

#### 大学ブランドの構築と広報戦略

9月6日、第49回教育改革シンポジウムが開催された。テーマは、大学ブランドの構築と広報戦略について考えるものであり、講演者には話題の近畿大学広報部長の世耕石弘氏をお迎えした。



講師の世耕氏

講演では、世間の大学ランキング意識は根強く、それを克服することは容易ではないこと、あえて

「コンクリートの打設作業が7名の学制が参加。大工から指導を受けるなど、作業を通じて交流する場面も見られた。製作作業は8月1日から本学建築技術センターにおいて行われた。9日に開催され、正式に一般へのお披露目となった。

デザイン学科4年生3名が、建築学、建築学、野口憲治助手が技術指導にあたった。このほか建築学科1年生2名、3年生2名、生活環境

デザイン学科4年生3名が、建築学、建築学、野口憲治助手が技術指導にあたった。このほか建築学科1年生2名、3年生2名、生活環境

### 就職支援情報 来年度も早期対応を見据え、全力で支援

夏休み明けの9月下旬から、内定を得ていない学生の相談が目立ち始めた。この時期まで内定が得られなかった理由を聞き、「卒業研究に集中して就活しなかった」と、

企業を学内に引き、ミスマッチの少ないインターンシップ的な「企業説明会」を数多く開催している。地方へのUターン希望者には、ハローワークを介して全国ネットの求人情報検索を利用するなど学生の希望にそった就職先を紹介している。

また、毎年10月初旬には保護者を対象にした「就職相談会」を開催している。基本的には学生本人を交えた三者面談で、これまでの本人の就職活動の状況を確認したうえで、今後の活動の進め方を一緒に考え、アド



保護者対象就職相談会では、学科担当職員が対応

「就職相談会」を開催している。基本的には学生本人を交えた三者面談で、これまでの本人の就職活動の状況を確認したうえで、今後の活動の進め方を一緒に考え、アド

得られるよう充実した支援を行っていく。来年度の就職協定について経団連は、今年度と

同日程とするを発表した。したがって企業説明会と面接の解禁はそれぞれ3月1日と6月1日となる。ところが就職協定は守られることがない。今年度同様、多くの企業のフライングにより3月初旬から面接等の採用活動が始まるものと危惧している。本学では、この流れに照準を合わせ、秋学期から学部3年生・大学院1年生を対象に履歴書やエントリーシートの書き方を指導する実践的な「就職支援ガイダンス」を木曜1時限、または4時限に実施してい

### 第49期決算・第50期予算

#### 日本工業大学の財務状況

一・はじめに  
第49期決算、第50期予算が監査法人及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されたため、ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力・ご支援をお願いいたします。

平成27年度(2015年度)に本学が行った主な事業等は次の通り。  
○新学長就任  
波多野純学長の任期満了に伴い、12月20日付で成田健一教授が新学長に就任。所属は建築学科。

○施設関連  
中庭に新たな癒しスポット「池と遊歩道」が完成。水車を利用した濾過方式を取り入れ、ビオトープを実現した。その他、第2学生駐車場用地を取得。本年9月より利用が開始された。

改正学校法人会計基準が平成27年4月に施行され初めての実績となる。「事業活動収支計算書」(別表2)は、①教育活動収支②教育活動外収支③特別収支の3つの活動に区分され、それぞれの区分

毎に収支バランスを示すことにより、経営状態を明らかにした。「貸借対照表」(別表3)は、年度末における財政状態を明らかにしたものである。結果、事業活動収入(①②③の収入計)は7億2900万円、管理経費は6億3300万円と

金62億6200万円(予算対比2億600万円)、手数料は7600万円、経常費等補助金は4億6900万円となった。人件費は29億2400万円、教育研究経費は24億2900万円、管理経費は6億3300万円と

結果、事業活動収入(①②③の収入計)は7億2900万円、管理経費は6億3300万円と

(別表1) 資金収支計算書 単位:千円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	6,055,646	6,262,515	△ 206,869
手数料収入	69,440	76,023	△ 6,583
寄付金収入	65,750	98,241	△ 32,491
補助金収入	510,000	469,417	40,583
付随事業・収益事業収入	45,478	70,857	△ 25,379
受取利息・配当金収入	122,300	156,622	△ 34,322
資産売却収入	0	211,189	△ 211,189
雑収入	197,120	261,128	△ 64,008
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,982,827	2,167,354	△ 184,527
その他の収入	1,437,279	655,511	781,768
資金収支調整勘定	△ 2,193,586	△ 2,378,521	184,935
前年度繰越支払資金	4,010,722	4,010,722	0
収入の部合計	12,302,976	12,061,057	241,920
支出の部			
人件費支出	2,930,013	2,938,788	△ 8,775
教育研究費支出	1,523,441	1,419,362	104,079
管理経費支出	635,019	589,575	45,444
借入金等利息支出	23,200	23,172	28
借入金等返済支出	215,080	215,080	0
施設関係支出	827,400	174,189	653,211
設備関係支出	320,917	241,176	79,741
資産運用支出	1,372,500	1,742,210	△ 369,710
その他の支出	768,580	689,322	79,258
予備費	100,000	100,000	0
資金支出調整勘定	△ 16,647	△ 102,076	85,430
次年度繰越支払資金	3,603,473	4,130,258	△ 526,786
支出の部合計	12,302,976	12,061,057	241,920

(別表2) 事業活動収支計算書(旧消費費収支計算書) 単位:千円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金	6,055,646	6,262,515	△ 206,869
手数料	69,440	76,023	△ 6,583
寄付金	47,750	55,624	△ 7,874
経常費等補助金	460,000	469,417	△ 9,417
付随事業収入	45,478	70,857	△ 25,379
雑収入	197,120	261,162	△ 64,042
教育活動収入計	6,875,434	7,195,598	△ 320,164
支出の部			
人件費	2,904,473	2,924,653	△ 20,180
教育研究経費	2,479,756	2,429,114	50,642
管理経費	676,634	633,746	42,888
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	6,060,863	5,987,514	73,349
教育活動収支差額	814,571	1,208,084	△ 393,513
収入の部			
受取利息・配当金	122,300	136,711	△ 14,411
その他の教育活動外収入	58,000	106,509	△ 48,509
教育活動外収入計	180,300	243,220	△ 62,920
支出の部			
借入金等利息	23,200	23,172	28
その他の教育活動外支出	549,250	589,827	△ 40,577
教育活動外支出計	572,450	612,999	△ 40,549
教育活動外収支差額	△ 392,150	△ 369,778	△ 22,372
経常収支差額	422,421	838,306	△ 415,885
特別収入			
資産売却額	0	211,189	△ 211,189
その他の特別収入	68,000	60,113	7,887
特別収入計	68,000	271,302	△ 203,302
支出の部			
資産処分差額	0	26,244	△ 26,244
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	26,244	△ 26,244
特別収支差額	68,000	245,058	△ 177,058
(予備費)	100,000	0	100,000
基本金組入前当年度収支差額	390,421	1,083,364	△ 692,943
基本金組入額合計	△ 900,000	△ 796,662	△ 103,338
当年度収支差額	△ 509,579	286,703	△ 796,282
前年度繰越収支差額	△ 2,692,817	△ 2,692,817	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 3,202,396	△ 2,406,114	△ 796,282
(参考)			
事業活動収入計	7,123,734	7,710,120	△ 586,386
事業活動支出計	6,733,313	6,626,756	106,557
経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計)	7,055,734	7,438,818	△ 383,084

(別表3) 貸借対照表 単位:千円

科目	資産の部		
	H27	H26	増減
固定資産	44,151,712	43,354,871	796,841
有形固定資産	19,507,318	20,091,295	△ 583,977
特定資産	24,641,402	23,260,584	1,380,818
その他の固定資産	2,992	2,992	0
流動資産	4,328,775	4,280,178	48,597
合計	48,480,487	47,635,049	845,438
科目	負債の部		
	H27	H26	増減
負債の部	4,758,487	4,996,413	△ 237,926
固定負債	1,959,872	2,072,427	△ 112,555
流動負債	2,798,615	2,923,986	△ 125,371
合計	4,758,487	4,996,413	△ 237,926
科目	純資産の部		
	H27	H26	増減
基本金	46,128,114	45,331,453	796,662
繰越収支差額	△ 2,406,114	△ 2,692,817	286,703
合計	43,722,000	42,638,636	1,083,364
負債及び純資産の部合計	48,480,487	47,635,049	845,438

(別表4) 事業活動収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	H27	H26	増減
補助金/事業活動収入	6.1%	6.8%	-0.7%
人件費/経常収入	39.3%	38.7%	0.6%
教育研究経費/経常収入	32.7%	34.7%	-2.1%
管理経費/経常収入	8.5%	7.8%	0.7%
借入金等利息/経常収入	0.3%	0.4%	-0.1%
人件費/学生生徒等納付金	46.7%	45.5%	1.2%

「就職支援ガイダンス」を木曜1時限、または4時限に実施してい

得られるよう充実した支援を行っていく。来年度の就職協定について経団連は、今年度と

同日程とするを発表した。したがって企業説明会と面接の解禁はそれぞれ3月1日と6月1日となる。ところが就職協定は守られることがない。今年度同様、多くの企業のフライングにより3月初旬から面接等の採用活動が始まるものと危惧している。本学では、この流れに照準を合わせ、秋学期から学部3年生・大学院1年生を対象に履歴書やエントリーシートの書き方を指導する実践的な「就職支援ガイダンス」を木曜1時限、または4時限に実施してい

得られるよう充実した支援を行っていく。来年度の就職協定について経団連は、今年度と

同日程とするを発表した。したがって企業説明会と面接の解禁はそれぞれ3月1日と6月1日となる。ところが就職協定は守られることがない。今年度同様、多くの企業のフライングにより3月初旬から面接等の採用活動が始まるものと危惧している。本学では、この流れに照準を合わせ、秋学期から学部3年生・大学院1年生を対象に履歴書やエントリーシートの書き方を指導する実践的な「就職支援ガイダンス」を木曜1時限、または4時限に実施してい

得られるよう充実した支援を行っていく。来年度の就職協定について経団連は、今年度と

得られるよう充実した支援を行っていく。来年度の就職協定について経団連は、今年度と

# 小中学生対象のものづくり体験教室を実施

## 夏休みの自由研究としても人気

イベント名称	主な内容	実施日	参加数
中学生科学教室	ホーバークラフト制作	7/30(土)	11名
親子ものづくり教室	木炭電池制作など5テーマ	8/6(土)	66組
関東地区リフレッシュ理科教室	理科実験、かざしてオルゴール制作	8/20(土)	37名
子ども大学みやしろ	からくり人形制作、デザイン講座など	9・10月の計4回	51名
子ども大学すぎと	光を使った実験、貯金箱制作など	9・10月の計4回	39名

夏休み期間を利用して、小・中学生や保護者を対象とした各種体験教室が今年も実施された。理科や工業技術への興味喚起を目的として毎年開催している。上記の通りバラエティに富んだ講義、実験、製作・実習などが企画され、各学科および共通教

育系の教員や学生が丁寧に指導を行った。小・中学生にとっては夏休みの自由研究のテーマとしても最適で、また、大学キャンパスで大学教員から指導を受けられる機会とあって、例年通り各イベントとも定員を超える盛況であった。



子ども大学すぎと 入学式



子ども大学みやしろ 実習風景



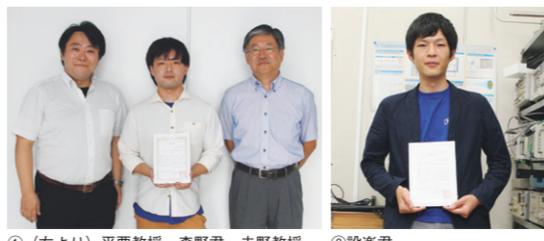
親子ものづくり教室 実習風景



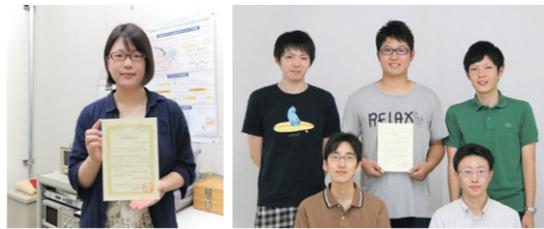
中学生科学教室 実習風景

**日本工業大学吹奏楽団**  
**第33回定期演奏会**  
12/4(日)開催 入場無料  
春日部市民文化会館大ホール  
[http://blogs.yahoo.co.jp/nit\\_wind](http://blogs.yahoo.co.jp/nit_wind)

**宮代キャンパスで防災訓練を実施**  
8月18日、宮代キャンパスにおいて防災訓練が行われた。学生、教職員、近隣住民等178名が参加。震度6強の地震を想定し、午前9時から身の安全を確保するシェイクアウト訓練、避難訓練、負傷者搬送訓練、初期消火訓練、マンホールトイレ設置訓練等を行った。また9月16日には1年次生対象の避難訓練を実施。977名が参加し、防災意識を高めた。



①(左より)平栗教授、森野君、吉野教授 ②設楽君



③中山さん ④代表の原君(中央)他プロジェクトメンバー

賞	所属学科/専攻	受賞者名	受賞論文名	受賞日
① 研究賞	電気電子工学科・教授	吉野 秀明	無線LANにおける衝突回避/検出方式の一検討	7/26
	電気電子工学科・教授	平栗 健史		
	電子情報メディア工学専攻博士後期1年	森野 善明		
② 奨励賞	電子情報メディア工学専攻博士前期1年	設楽 勇	Dual coding方式による映像伝送の提案	7/26
③ 最優秀賞	電気電子工学科4年	中山 昌美	多方向電力伝送システムを可能とするモノポールアンテナと矩形無線電素子の評価	8/28
④ 奨励賞	電子情報メディア工学専攻博士前期1年	原 正東(代表)	ヘルスケア・生活支援システムのトライアルに向けて～高齢者を見守るシステム開発～	8/28

**学生フォーミュラ大会 日本自動車工業会会長賞を受賞**  
今年9月6日から5日間、静岡県で開催された。機械工学科学生を中心に構成されたチームが参戦し、全種目完走チームに贈られる日本自動車工業会会長賞を3年連続で受賞した。参加92チーム中、全種目完走が19チームと厳しい状況の中、本学チームは4回目の受賞で、直近3年間の連続受賞は本学を含め2チームのみ。



今年のフォーミュラマシン。全種目を完走

**電子情報通信学会 最優秀賞など4組が受賞**  
電子情報通信学会コミュニケーションシンクオリティ研究会における4組の受賞報告が届いた(下表)。同学会は電子技術情報処理技術、通信技術に関する研究を行っている。インターネットをはじめとする通信や無線は現代社会における最重要分野で、今後一層の進歩が期待されているだけに、受賞学生にとって大きな励みとなるだろう。受賞の詳細は本学WEBサイトで紹介している。

**計測自動制御学会 研究奨励賞受賞**  
電子情報メディア工学専攻修士課程修了の茂木拓也君が9月2日、計測自動制御学会の「センシングフォーラム研究奨励賞」を受賞した。受賞論文名は「超音波センサを用いたトルクの非接触計測」。本研究では、初めての試みとして「超音波式測定」を自動車エンジン向けに提案し、その原理を裏証。角度と回転数のほか角速度も計測することができ、トルクについても推定値取得を可能とした。将来的には自動車エンジンやロボット等の回転センサとしての活用が期待されている。

**学生が選定した書籍を展示した**  
9月20日に三省堂書店神田神保町本店にて、第2回選書ツアーを実施した。「選書」とは、LCセンターの購入図書を選ぶ業務で、通常は司書が本のカatalogから選んでいく。一方、選書ツアーは「学生による学生のための選書」を目的とした企画であり、実際に書店に出向いて、本の内容をみて選定するもので、年1回開催している。今年の参加者8名による「利

**人事異動**  
【任用】(9月1日付)  
村上升之事務職員(教務課)  
【昇任】(10月1日付)  
二ノ宮進一准教授(機械工学科) 昇任  
細田彰一准教授(機械工学科) 昇任  
安原純幸准教授(ものづくり環境学科) 昇任  
樋口勝准教授(創造システム工学科) 昇任  
上野貴博准教授(電気電子工学科) 昇任  
高瀬浩史准教授(情報工学科) 昇任  
石原次郎准教授(情報工学科) 昇任  
佐々木誠准教授(建築学) 昇任  
石川貴一准教授(機械工学科) 昇任  
秋元俊成助教(創造システム工学科) 昇任  
木村貴幸助教(電気電子工学科) 昇任  
大橋裕太郎助教(情報工学科) 昇任  
菊田貴恒助教(建築学) 昇任  
芳賀健講師(共通教育系) 昇任  
山中章子講師(共通教育系) 昇任  
進藤卓也助教(電気電子工学科) 昇任  
【任用】(9月1日付)  
教務課長補佐 村上升之

【10月1日】  
機械工学科主任 中野道王教授(再任)  
創造システム工学科主任 中里裕一教授(再任)  
情報工学科主任 辻村泰寛教授(再任)  
生活環境デザイン学科主任 足立真教授(新任)  
電子情報メディア工学専攻幹事 吉野秀明教授(再任)  
建築デザイン工学専攻幹事 黒津高行教授(新任)  
留学生別科長兼担 古閑伸裕教授(再任)  
【退職】(7月31日付)  
山田隆司事務職員(財務課)

【10月1日】  
出張先タイ(9/15) 9/4/目的「インターンシップ」引率(他学部学生6名)  
瀨戸真弓教授(生活環境デザイン学科) 出張先フィンランド(9/15/9/7) 目的「フィンランドにおける高齢者の歩行空間を構成する用語に関する現地調査」  
波多野純教授(生活環境デザイン学科) 出張先カナダ(9/25/9/14) 目的「2x4木造建築工房によるカナダ研修所の建設作業指導」  
勝木祐仁准教授(生活環境デザイン学科) 出張先カナダ(9/25/9/14) 目的「2x4木造建築工房によるカナダ研修所の建設作業指導、カナダ研修所での出前授業ならびに進学指導を実施」  
野口憲治助手(建築学) 出張先カナダ(9/25/9/14) 目的「2x4木造建築工房によるカナダ研修所の建設作業指導」  
瀧澤英男准教授(機械工学科) 出張先イギリス(9/30/9/11) 目的「板成形数値解析の国際会議での研究発表」  
大橋裕太郎准教授(情報工学科) 出張先カナダ(9/5/9/10) 目的「カナダ研修所に出前授業ならびに進学指導を実施」  
吉田清教授(電気電子工学科) 出張先アメリカ(10/8/10/14) 目的「第62回IEEEホルム会議において研究発表」  
神野健哉教授(電気電子工学科) 出張先ハンガリー(10/8/10/14) 目的「2016 IEEEシステム、人間、サイバネティクスに関する国際会議での研究発表」  
佐藤進也教授(情報工学科) 出張先アメリカ(10/12/10/18) 目的「Webインテリジェンスに関する国際会議WI2016への参加と研究発表」  
生駒哲一教授(情報工学科) 出張先中国(11/3/11/6) 目的「第7回計算知能と産業応用に関する国際シンポジウム(ISSCIA2016)で研究発表

**町代より 宮代 204号**  
特別展「宮代町の指定文化財」  
現在、宮代町には33件の町指定文化財があります。西光院に伝わる徳川将軍家から発給された朱印状や葵紋入りのお茶碗、このほか主に和戸地域を中心に残されている12体の円空仏などさまざまな文化財が展示されています。特別展では、これらの町指定文化財を可能な限り一堂に会して皆さんにご紹介いたします。なお、期間中は秘仏として25年に一度ご開帳されている西方院の十一面観音像が特別公開されます。  
【期間】12月25日(日)まで ※月曜・祝日の翌日は休館 【問】宮代町郷土資料館04800・34・888002

**国外出張**  
小崎美勇准教授(機械工学科) 出張先中国(8/14/8/18) 目的「精密製造技術に関する国際会議(nanoman2016)での研究発表」  
張曉友教授(機械工学科) 出張先中国(8/22/8/28) 目的「第4回機械、自動化及び材料科学に関する国際会議での研究発表」  
鈴木宏典教授(ものづくり環境学科) 出張先タイ(8/27/8/31) 目的「環境・都市・交通工学国際会議での研究発表」  
神雅彦教授(機械工学科)

留学生別科入学試験の実施と学生募集活動  
古閑伸裕教授(機械工学科) 出張先中国(9/16/9/19) 目的「協定機関EICにおける募集活動と新社長との今後の募集に関する打ち合わせ」  
吉田清教授(電気電子工学科) 出張先イギリス(9/28/10/3) 目的「国際電気標準会議TC94国際会議に出席」  
二ノ宮進一教授(機械工学科) 出張先スウェーデン(10/25/10/7) 目的「国際砥粒加工学会での研究発表・国際砥粒委員会の出席」  
吉田清教授(電気電子工学科) 出張先アメリカ(10/8/10/14) 目的「第62回IEEEホルム会議において研究発表」  
神野健哉教授(電気電子工学科) 出張先ハンガリー(10/8/10/14) 目的「2016 IEEEシステム、人間、サイバネティクスに関する国際会議での研究発表」  
佐藤進也教授(情報工学科) 出張先アメリカ(10/12/10/18) 目的「Webインテリジェンスに関する国際会議WI2016への参加と研究発表」  
生駒哲一教授(情報工学科) 出張先中国(11/3/11/6) 目的「第7回計算知能と産業応用に関する国際シンポジウム(ISSCIA2016)で研究発表

留学生別科入学試験の実施と学生募集活動  
古閑伸裕教授(機械工学科) 出張先中国(9/16/9/19) 目的「協定機関EICにおける募集活動と新社長との今後の募集に関する打ち合わせ」  
吉田清教授(電気電子工学科) 出張先イギリス(9/28/10/3) 目的「国際電気標準会議TC94国際会議に出席」  
二ノ宮進一教授(機械工学科) 出張先スウェーデン(10/25/10/7) 目的「国際砥粒加工学会での研究発表・国際砥粒委員会の出席」  
吉田清教授(電気電子工学科) 出張先アメリカ(10/8/10/14) 目的「第62回IEEEホルム会議において研究発表」  
神野健哉教授(電気電子工学科) 出張先ハンガリー(10/8/10/14) 目的「2016 IEEEシステム、人間、サイバネティクスに関する国際会議での研究発表」  
佐藤進也教授(情報工学科) 出張先アメリカ(10/12/10/18) 目的「Webインテリジェンスに関する国際会議WI2016への参加と研究発表」  
生駒哲一教授(情報工学科) 出張先中国(11/3/11/6) 目的「第7回計算知能と産業応用に関する国際シンポジウム(ISSCIA2016)で研究発表

**編集後記**  
「新しいことを勉強している」と世の中は怖くありません。何も怖くないで、じっとしているから、怖くなるんです。▼落語家の故・林家彦への言葉だ。彼は反骨精神旺盛な洒落な人柄で終生、長屋住まいであったことでも知られている。▼彼の芸風は、地味ながらも実直かつ恬淡と道を究めたものであった。この言は彼の芸人論を超えた人間論と云ってよいだろう。▼言わば、停滞・沈滞が何も生み出さず、それどころか人を弱く臆病にさせることを静かに戒めている、という意味だろう。その挑戦の気概が、読むもの目にも小気味よい。このような姿勢を、正しい意味での「晩熟」というのだろうか。▼また、彼は次のような言葉も残している。「俺は70過ぎてから、売れたのだよ。」「若いうちの不遇など、どれほどのものか、と改めて思う。人生、先は長い。地道にやっつけていけばいずれ花は咲くのだよ。【信]